

## 宮城県古川黎明高等学校の「理系人材育成支援事業」に参画 「ヒトスジシマカの観察・実験を通して、害虫の生態とリスクを学ぶ」

3月24日（火）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校である宮城県古川黎明高等学校の高校1年生54名を対象にオンライン授業を実施しました。兵庫県赤穂市にあるアース製薬 赤穂研究部の生物飼育室をバーチャル見学した後、研究部の浅井係長、有吉マイスター、瀬島係が助言を行い、「蚊の生体と簡易装置を用いた誘引実験」を実施しました。生徒たちは、「探究的な学び」のスキルトレーニングとして、意図をもって観察し、誘引された蚊の数を雄雌別にカウントするなど「数値化」することに工夫を凝らす実験に取り組みました。最後に、当社からマダニの媒介する感染症とその正しい対策方法についても解説しました。本取り組みは、2022年2月に当社と宮城県が締結した包括連携協定の「教育・文化及びスポーツの振興に関する取り組み」に基づき実施したものです。



蚊の生体を使った誘引実験



オンラインで生物飼育室を見学



虫よけ剤「はだまも」の効力試験